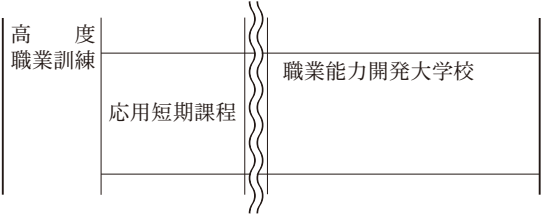
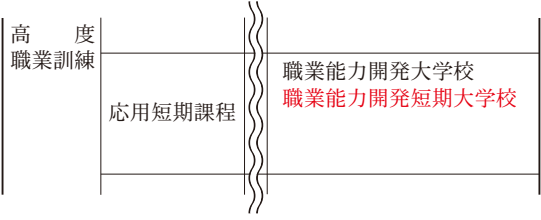
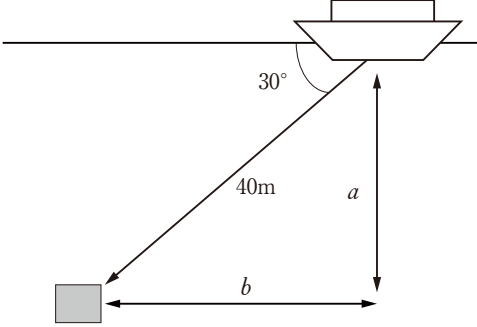
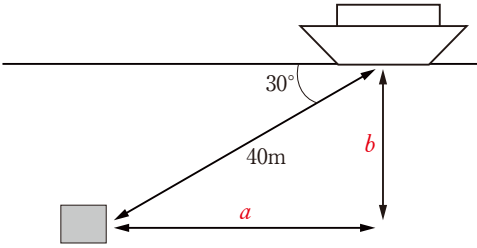


▼ 本冊

ページ・行	誤	正																														
P.10 表 1-1	① 職業訓練の種類 	① 職業訓練の種類 																														
P.139 図 2-48	<p>……が分かった。では、物体までの深さ a と距離 b を求めよ。</p> 	<p>……が分かった。では、物体までの距離 a と深さ b を求めよ。</p> 																														
P.172 表 2-42 最下行	<table border="1" data-bbox="279 1052 821 1209"> <tr> <td>95</td> <td>1</td> <td>+25</td> <td>625</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均 = 70</td> <td>N = 30</td> <td colspan="2">$\Sigma FD^2 = 3150$</td> </tr> <tr> <td colspan="5">$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{50}} = 10.2$</td> </tr> </table>	95	1	+25	625	625	平均 = 70		N = 30	$\Sigma FD^2 = 3150$		$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{50}} = 10.2$					<table border="1" data-bbox="925 1052 1468 1209"> <tr> <td>95</td> <td>1</td> <td>+25</td> <td>625</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均 = 70</td> <td>N = 30</td> <td colspan="2">$\Sigma FD^2 = 3150$</td> </tr> <tr> <td colspan="5">$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{30}} = 10.2$</td> </tr> </table>	95	1	+25	625	625	平均 = 70		N = 30	$\Sigma FD^2 = 3150$		$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{30}} = 10.2$				
95	1	+25	625	625																												
平均 = 70		N = 30	$\Sigma FD^2 = 3150$																													
$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{50}} = 10.2$																																
95	1	+25	625	625																												
平均 = 70		N = 30	$\Sigma FD^2 = 3150$																													
$\sigma = \sqrt{\frac{\Sigma FD^2}{N}} = \sqrt{\frac{3150}{30}} = 10.2$																																
P.333 上から 2 行目	職業能力開発短期大学校では、専門短期課程並びに応用短期課程……	職業能力開発短期大学校では、 専門課程及び 専門短期課程並びに応用短期課程……																														
P.357 表	<table border="1" data-bbox="279 1411 821 1859"> <tr> <td>適用</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 </td> </tr> <tr> <td>提示</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ </td> </tr> <tr> <td>提示</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを </td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ </td> </tr> </table>	適用	<ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 	提示	<ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ 	提示	<ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを 	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ 	<table border="1" data-bbox="925 1411 1468 1859"> <tr> <td>適用</td> <td>15分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 </td> </tr> <tr> <td>提示</td> <td>15分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ </td> </tr> <tr> <td>適用</td> <td>15分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを </td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td>動機づけ 5分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ </td> </tr> </table>	適用	15分	<ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 	提示	15分	<ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ 	適用	15分	<ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを 	まとめ	動機づけ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ 										
適用	<ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 																															
提示	<ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ 																															
提示	<ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを 																															
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ 																															
適用	15分	<ul style="list-style-type: none"> 次のような製品開発場面の問題 ある部品の初期長さの限界 																														
提示	15分	<ul style="list-style-type: none"> 構造物保守への適用方法に説明する。 保守では、保守から得られ 																														
適用	15分	<ul style="list-style-type: none"> 次のような保守場面の問題を 干渉している部品の長さを 																														
まとめ	動機づけ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 授授業の振り返りをして、次の 設計・保守の様々な状況に 与えられた条件の中で、ひ 																														
P.358	8. 所要時間 80分	8. 所要時間 85分																														
P.362	8. 所要時間 20分	8. 所要時間 30分																														

▼ 本冊

ページ・行	誤			正				
P.363 表中			(2) マウスの動かし方			(2) マウスの動かし方		
	提示	10分	● 次のポイントを説明しながら ・マウスを上下左右に動かし	提示	5分	● 次のポイントを説明しながら ・マウスを上下左右に動かし		
			(3) ボタンの操作方法			(3) ボタンの操作方法		
	提示	25分	● 次のボタン操作の方法と ・クリック=選択	提示	13分	● 次のボタン操作の方法と ・クリック=選択		
	まとめ	動機づけ	5分	● 次のことができるようにな (1)マウスを操作して画面上の (2)マウスボタンの操作を使い	まとめ	動機づけ	2分	● 次のことができるようにな (1)マウスを操作して画面上の (2)マウスボタンの操作を使い

▼ 練習問題集

ページ・行	誤		正	
P.10 ⑩ 1行目	表 3-8 に示す過去 3 年間（平成 30 年から令和 2 年……		表 3-10 に示す過去 3 年間（平成 30 年から令和 2 年……	

※ 解答（○）に変更はありません。